



TOKUYA TIMES



<http://ito-tokuya.com/tokuya>

伊藤 とくや

Spring, 2018, vol.44

今急がれる、3つのテーマ！

44号発行についてのご挨拶

平成29年度、最後の一般質問は、今一番急がれる『災害対応能力の強化』『変化する中心市街地に対する“まちづくり”』『シティプロモーションの今後の展開』という3つのテーマを選び議論を深めました。



熊本地震にて石垣が倒壊した熊本城（平成29年4月）

本市における災害対応能力の強化について

- 本市は平成23年度より防災関連組織機構改革を始め、防災危機管理課が市長直轄という形になり6年を経過しました。
- しかし、昨今の熊本地震など、当初の想定を超えたかたちで発生する大規模地震・突発的豪雨などを見ると、多様な大災害のリスクを再想定することが求められており、しかも限られたコストと人員で整えねばなりません。

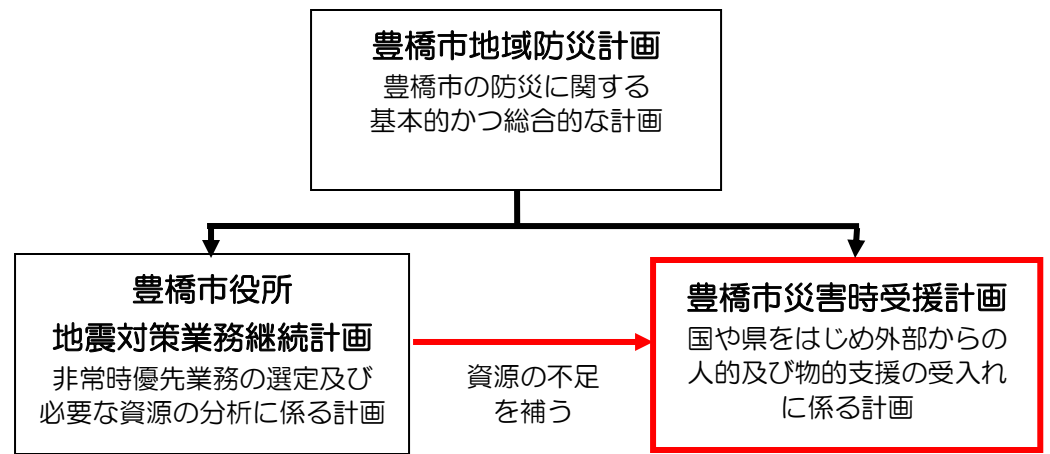
近年における災害「対策体制強化に向けた具体的な取組」「体制強化」「職員の育成」について伺います。

- 東日本大震災などの過去の災害では、応援の受入窓口の不明確さや宿泊場所等の環境整備の課題などにより、外部からの応援を十分に活用できず、職員等の派遣を断らざるを得ない等の事態も発生した。

- 既に先進市では「業務継続計画<地震対策編>」の策定に際して、災害発生後に実施すべき非常時優先業務の選定、大規模災害が発生した際の外部からの応援を円滑に受け入れるための「災害時受援計画」を策定している。

本市の「応急期における本市の想定する受援機関」「作成中の受援計画の策定期間」「要請を待たずに被災地へ物資を緊急輸送する国からのプッシュ型の支援物資に関する受援体制の課題」について伺います。

豊橋市災害受援計画の位置づけ



答弁要旨

- 国は、地方への応援について定めた「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画」を策定しており、愛知県はこれを踏まえて、国の応援を受ける体制を確保するため、平成28年3月に広域受援計画を策定しています。
 - 本市も、これらの計画と整合性を図りつつ、実効性のある受援体制を整え様々な応援を円滑に受け取ることができる受援計画を早急に策定する必要があると考えており、次年度中での策定を予定しています。
 - 国のプッシュ型支援（被災した自治体からの要請を待たずに、必要不可欠と見込まれる物資を調達し、被災地に緊急輸送する支援方法）は、広域物資輸送拠点に支援物資を輸送し、そこから愛知県が地域内輸送拠点へ輸送することになっています。
 - 本市では、いずれの拠点も豊橋市総合体育館になっていますが、ここは津波浸水想定区域内であるため、物資輸送に支障が出ることも考えられます。
 - そこで、代わりの場所も想定しておく必要があることから、愛知県災害物流円滑化検討会および東三河地域防災協議会において現在検討を行っています。
 - また、プッシュ型支援で届けられた物資を滞りなく避難所に届けることが課題になるため、受け入れ・搬送を行う市の担当部局、協定事業者による連携した訓練、手順についての検証が必要であると考えています。
- 伊藤とくや** ◆ 待ち望まれる災害時受援計画は、平成30年度策定予定とのこと。
- ◆ 熊本の震災の反省から伺えるのはまさしく受援についての連携訓練です。
 - ◆ 広域に渡る被害が予想される南海トラフ地震では、応援の供給量が分散されるため、限られた資源をいかに効率的に受け入れるかが重要。
 - ◆ 豊橋市総合体育館は体育館内への数多くのトラックの乗り入れの進入路の未整備などの「ラストワンマイル問題」や、荷物の積み下ろし、フォークリフトがない事、受援物資の仕分け時におけるメインアリーナとサブアリーナの接続問題など、課題は山積している。
 - ◆ 災害発生に伴い開設する避難所の運営や、避難所外に避難する被災者の生活を支援するために実施する避難者対策の推進にあたり、不足が見込まれる支援体制を確保し、支援サービスの迅速かつ確かな提供を行うことが受援の目的であることから、国県の動きと整合性を図りながら、本計画を運用していくことが必要不可欠となる。
 - ◆ 災害時に機能する豊橋市受援計画を早急に策定されることを強く期待する。

👉 ストリートデザインについて議論する

- いよいよ駅前大通 2 丁目再開発が槌音を響かせ始めました。
- 新たな多目的屋内施設も近く事業提案を募集する状況であり、豊橋公園が中心市街地の回遊拠点という視点は欠かせません。
- それらをつなぐストリートデザイン事業も来年度から一部実施に移ります。

👉 回遊しやすい仕組みづくり、歩行者目線にたったサインの考え方とは？

回答 目的地や立ち寄りいただきたい場所を案内するサインは「まちのおもてなし」にとって重要なものです。

◆ 中心市街地やその周辺には魅力的な物や場所が数多く点在しており、これから着手してまいります各通りの整備に当たって、こうした考え方を具体化するために関係機関等と調整を図っていきたくと考えています。

👉 中心市街地における公共駐車場について議論する

- 現在求められている駐車場の効果、言い換えれば利益とは、市民もしくは顧客の満足度（－／マイナス）コスト。
- 「個人の受益」から「社会全体の受益」という視点も不可欠。
- もちろん「最少の経費で最大の効果」「環境対策や防災対策の視点」「新しい料金体系、サービス利用の対価としての使用料ではなく、施設を利用することで得られる副次的効果」「社会保障支出の縮減に繋がる社会全体の受益として捉え、使用料を見直すといった発想の転換」「利用者が使いたくなるような施設としての自由な組合せの発想」も必要。

👉 公共駐車場の変化とこれからの公共駐車場のあり方について

回答 中心市街地活性化策となる駅前大通 2 丁目地区再開発事業やストリートデザイン事業などにより、市街地の駐車需要も変化して行きます。

◆ 今後は、チャイルドシート設置車など子育て世代や高齢者・障害者の利用に配慮した駐車マスの拡幅のほか、まちの変化に対応し、場内サインの見直しなど、利用しやすい駐車場としていく必要がある。

◆ 本市の公共駐車場は、駅前大通といった重要な幹線道路の地下などにあるため、簡単に壊して、造り替えることができないといった制約もある。

◆ そうしたことから、既に策定済の公共駐車場長寿命化計画に基づき、限られた財源のなかで、効果的に施設改修や設備更新を行うことで延命化を図り、できるだけ長く使い続けていきたいと考えています。

👉 **伊藤とくや** ♥ 円滑な移動の確保では、わかりやすい道路案内サイン、多様な情報ツールとの連携、公共交通機関との連携 ♥ ユニバーサルデザインへの対応では、国際化への対応、ピクトグラム(絵文字・絵ことば)の活用、高齢者や障害のある方への対応 ♥ 景観への対応では、周辺景観との調和が必要とされます。♥ 是非とも豊橋方式では規制から、暖かい「おもてなし」の心を示すサインにしてください。



あとがき このたび私は、豊橋市議会副議長に就任することになりました。大任を拝し、身に余る光栄です。また同時に、責任のその重さを痛感しています。議長を支え、公正かつ円滑な議会運営に努めます。よろしくお願ひ致します。また、今までにも増して安心・安全かつ活力ある豊橋の実現に向け、市議会が持つ力を十分発揮できるよう、全力を尽くします！

みち・まちづくり宣言

～全 5 回のワークショップ意見にみる、地域一体の動きづくりに向けて大切な視点～

目標像

萱町通り	豊橋一上質な時間が過ごせる、出会いと潤いの都市空間
水上ビル（北側）	水上ビルの営みに寄り添い、新しさと懐かしさが交わる生活空間

- 一、人が中心のみちへ
- 一、暮らしやすさと賑わいのバランスをとろう
- 一、公園、広場とのつながりをつくろう
- 一、沿道もふくめた一体的なみちまちづくりに取り組もう
- 一、みちの使いこなしのルールをつくろう
- 一、個性ある空間を育むために、使いこなしの実験を重ねよう
- 一、活動を仕掛けて賑わいある通りに育もう
- 一、オープンまでの動きをつくろう
- 一、安全で清潔なみちの維持管理をしよう
- 一、責任ある維持管理のための体制づくりをしよう

2017年3月
豊橋市ストリートデザイン
ワークショップ参加者一閃

シティプロモーションの今後の展開について

回答 地域内外に向けて本市の魅力を発信していくには、単発で事業を打つだけでなく、事業自体に広がりを持たせ未来につながる取組みが大切。

◆ 「ええじゃないかとよはし映画祭」には、全国から世界から若い世代の方たちにご来場いただきましたが、何よりも 13 人もの映画監督さんと 14 人もの役者さん、さらに声優さんや MC さんなど、総勢 40 人を超える映画関係者の方たちがこの映画祭のために豊橋に来訪された。

◆ これほどのゲストが集まる映画祭は少なく、その皆さんが豊橋の印象や美味しいものを、SNS などを通じてそれぞれ発信してくださっています。

◆ 舞台裏ではゲスト間で豊橋ロケの話や出演オファーなどもあったとのこと。

◆ 子供向け映画制作ワークショップや、監督たちから映画にまつわるディープな話が聞けるカンファレンスなどを通して次の世代の映画人づくりにつながる取り組みも始めましたが、映画祭のキャッチフレーズは「映画でつながる、愛知でつながる」です。まさにこの映画祭をきっかけに豊橋の地で市内外の映画ファンがつながり、映画人同士がつながり、そして未来の映画人につながる。そうした広がりが、この豊橋で映画の新作や新人映画監督が生まれた、と言われるような「映画のまち・豊橋」の実現につながるのだと思います。

◆ 今後はこの映画祭のような将来につながるプロモーション活動に取り組みたいと考えています。

伊藤とくやのおもい コンテンツで最も重要なのは「心のかもった発信」であるとのこと。市内外の豊橋ファンが広がることを期待します。♥😊😊😊😊

市政報告会のお知らせ

日付 平成 30 年 7 月 4 日(水)
時間 18 時 30 分より
会場 カリオンビル(松葉町 2 丁目)
お気軽にお越しください！



発行

伊藤とくや事務所
豊橋市松葉町 3-68
FAX : 0532-56-5521
TEL : 0532-53-4556
e-mail : bbito@me.com